

事業完了を迎えるURの越谷レイクタウンのまちづくり

おおさがみちようせつち
—大相模調節池の県への管理引き継ぎとともに事業完了を迎えるURのまちづくり—

UR都市機構首都圏ニュータウン本部は、間もなく（本年11月中旬予定）越谷レイクタウンの事業完了（土地区画整理事業の完了）を迎えます。あわせて、事業完了に先立ち大相模調節池について埼玉県に管理を引き継ぎました。

URは越谷レイクタウンにおいて、基盤整備を図り、持続可能なまちの基礎づくりを行ってまいりました。ここは、水に生かされ水に悩まされた地域でしたが、そこで、水辺空間と都市空間の融合を目指して、総合治水対策として大相模調節池の整備（※）と土地区画整理事業を一体的に行ってまいりました。（これら事業を一体的行うことによるレイクタウン整備事業は全国初）

現在、レイクタウンを舞台に、市民による様々なコミュニティ活動、イベントが、そして、日本最大級の大規模ショッピングセンターや住宅事業者等の誘致により事業者の活発な業務が展開されています。

このたび事業完了を迎えるにあたり、あらためて、URの取り組みをご紹介します。

※UR都市機構が埼玉県から施行同意を得て特定公共施設として施行。

○コンセプト

「水とともに暮らす親水文化創造都市」

テーマ

- ・ 地域ぐるみによる低炭素社会の構築
- ・ 環境共生都市におけるコミュニティ創造
- ・ 広域エリアにおける洪水調整機能



○特徴的な取組概要

◆積極的なリデュース・リユース・リサイクル

- ・都営地下鉄大江戸線工事等で発生した大量の残土を受け入れ、大規模なリユース
- ・舗装道路盤材として焼却スラグを混入したブロックや再生骨材を使用
- ・ヤシの実や麻の繊維を材料としたファイバードレーンを使用



<公共建設発生土>



<焼却スラグを混入したブロック>

◆治水機能にとどまらない、市民憩いの水辺空間整備等

<池を一周できるレイクサイドウォーク、親水テラス、ヨットやボートに乗り降り可能な棧橋、水上ステージ、市民参画のビオトープ、池の橋梁に水鳥をテーマにネーミング>



<ビオトープ>



<棧橋>

◆新駅設置にあわせ、隣接公園と一体的な駅前広場整備

<ゆとりある歩行空間とイベント等で賑わいながら人々が交流できるスペースの設置>



<越谷レイクタウン駅北口>

◆環境共生を先導するまちづくり

—いち早く低炭素社会の実現に向け民間事業者とともに展開—

〈環境共生モデル街区の設定：調節池に隣接する街区に設定。次世代省エネルギー基準に適合する建築の誘導、環境負荷の少ないエネルギー活用の推進による街区のCO2排出量を20%以上削減を住宅事業者にご協力いただいた。〉



◆まちづくり市民活動の拠点「水辺のまちづくり館」整備、支援

—活発な、そして先駆的な市民活動の展開—

〈URがまちづくり市民活動の拠点として平21年4月に開設以降、昨年度末まで運営管理し、活動を支える（昨年度末に市に移管）。まちづくりの情報提供、カヌー等水面利用に係る手続き、その他市民交流の場となり、引き続き活発なコミュニティ活動が展開。また、地域使用权（レイク券）を、清掃、除草など水辺環境維持活動に参加のつど発行し、会議室や活動室の貸し出しに利用可能とする工夫（URの発案）により、市民参加誘発のモデルとなった。〉



〈越谷レイクタウンクリーン大作戦〉



〈夏休み科学教室～水の達人～〉

○レイクタウンを舞台にした最近の動き

◆越谷レイクタウンを舞台に様々なコミュニティ活動、イベントが展開

- ・URがまちのベースをつくり、市民による持続的なまちづくり活動が繰り広げられている。
- ・市民による持続的な維持管理を行う自主活動組織「越谷レイクタウンふるさとプロジェクト」がスタートし、自然観察、清掃、ディンギー体験等コミュニティ活動の輪が大きく広がりをみせることになった。



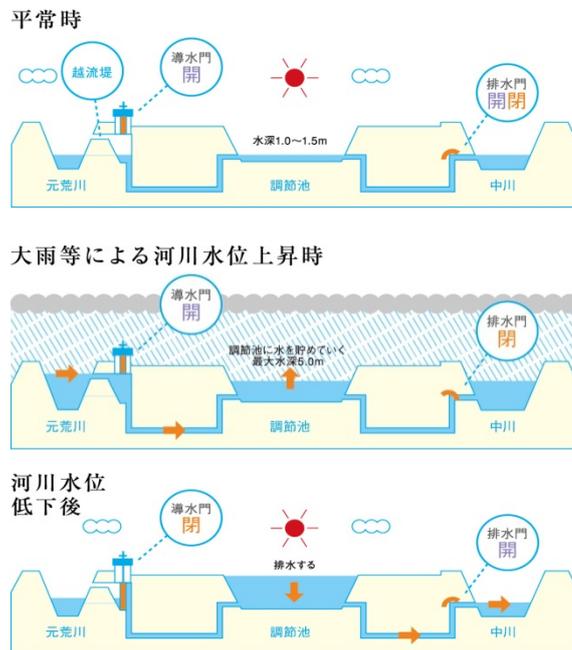
LakeTown Act Green ECO WEEK

「Act Green ECO WEEK」は、越谷レイクタウンを日本一のエコタウンにするために、実行委員長にC.W.ニコルさんを迎え、毎年秋に開催する環境を学ぶイベント。6回目の2013年のテーマは「グリーンパワーで未来を築こう エコライフ」でした。見田方遺跡公園や水辺のまちづくり館、kaze, moriなどが会場となり、こどもも大人も、楽しみながら環境の大切さを学びました。



○参考（概要）

- ・ 事業：土地区画整理事業、公共施設整備（調節池、道路、公園、橋）
- ・ 面積：225.6ha、地権者数：約950名
- ・ 調節池の概要：調節容量120万m³、調節池面積39.8ha



・ 経緯

昭 58～59 年 越谷南部地域開発基本計画策定調査委員会（建設省、埼玉県、国鉄、東武鉄道、越谷市、住宅・都市整備公団（現 UR 都市機構））

平 6 年 8 月 県、市、公団による事業に関する基本協定等の締結

平 8 年 5 月 都市計画決定

平 11 年 6 月 調節池直接施行同意（県→公団）

平 11 年 12 月 土地区画整理事業計画認可

平 20 年 3 月 JR 越谷レイクタウン駅開業

平 20 年 4 月 まちびらき

平 20 年 10 月 イオンレイクタウン（kaze、mori）開店

平 21 年 10 月 リブコムアワード（※）2009 プロジェクト賞 金賞受賞（プロジェクト賞での金賞受賞は日本で初めて）

※リブコムアワード：国連環境計画（UNEP）の承認を受け「環境に配慮した住みよいまちづくり国際賞」として、優れた実績を上げた自治体等に与えられる唯一の国際的表彰制度。



＜リブコムアワード 2009 金賞＞

平 26 年 3 月 UR が設置、管理してきた「水辺のまちづくり館」を市へ移管

平 26 年 10 月 調節池の県への管理引継ぎ

平 26 年 11 月 換地処分予定（事業完了予定）